

令和4年度茨城県教育研修センター「推薦研修概要」

※ 情報教育課、特別支援教育課の研修講座について記載しています。

講座番号	研修講座名	実施日	目的・内容
65	情報科教育研修講座	第1日 7月15日(金) ～ 10月3日(月) 第2日 10月7日(金)	<p>情報科教育においては、平成30年3月に公示された高等学校学習指導要領に基づき、令和4年度より指導内容が充実されることになりました。これに伴い、高等学校情報科担当教員の指導力を高めることが一層重要となっております。本講座では、第1日はオンデマンドでプログラミング指導法を学び、第2日は集合研修で共通教科情報における「情報Ⅰ」学習指導の実際を学びます。受講時に「情報Ⅰ」またはその代替科目を授業で教えていらっしゃる先生をご推薦ください。</p> <p>第1日 講義・実習「学習指導要領を踏まえた情報科目の指導Ⅰ」 特定非営利法人みんなのコード 学校教育支援部主任指導講師 永野 直</p>
66	産業教育（農業）研修講座	10月14日(金)	<p>農業高校では、実践的・体験的な学習活動を通して、地域や社会の健全で持続的な発展を担う職業人として必要な資質・能力を育成することを目標に日々の教育活動が行われています。本講座では、最新の農業技術で作農に取り組む農業法人での栽培技術の見学や、農協の運営システム、食品加工技術の体験を行います。これからの農業教育を牽引していただける先生をご推薦ください。</p> <p>講義・実習「県内の農業関連施設での研修」(所外研修) 株式会社 truegreen 代表取締役 吉井 一晴 全国農業協同組合連合会茨城県本部 担当職員</p>
67	産業教育（工業）研修講座	第1日 7月27日(水) 第2日 7月28日(木)	<p>私たちの社会を支えるテクノロジーは、日進月歩で変化しています。そのような予測が困難な社会において、生活のインフラを支える一つの柱が、工業技術であり、そのための技術者を育成することが工業高校の使命です。本講座では、様々な分野が存在する工業科において、今後すべての分野で共通して必要とされる情報技術に焦点を当てた内容を計画しました。ロボットやAI家電といった我々の生活を豊かにする技術の入り口について、体験型の研修を行います。テーマは、コロナ禍で大活躍、「顔認識検温システム」の製作。センサやカメラの制御、画像処理、ネットワーク設定といった、AIやIoT技術を易しく学びます。所属学科、経験の有無は問いません。お持ち帰りいただく研修成果と教材を学校で活用し、ものづくりを通じた工業教育を推進していただける先生をご推薦ください。研修後、学校での活用事例をご報告いただきます。</p> <p>講義・実習「シングルボードコンピュータによるIoT実習」 茨城県立産業技術短期大学校 学科主任 榮 智徳、主任 落合 昇</p>
68	産業教育（商業）研修講座	7月14日(木)	<p>商業科では、簿記・情報処理・販売サービスなど専門的知識や技術を身に付け、職業資格を取得することに加えて、地域社会とのつながりの中で、問題解決力・コミュニケーション能力・職業観などを育成することが求められます。本講座では、商品開発、課題研究を軸に、実践事例紹介や講義・演習を通して、商業科で学んだスキルを活かす授業展開について協議します。また、生徒個々の能力を発揮させる方法として、県内で次世代のテクノロジー分野を手掛ける企業運営をなさる講師の大野先生から、商品開発や人材開発に役立つ、アイデア創出方法について紹介いただきます。社会に開かれた商業教育の実現に向けて、意欲ある先生をご推薦ください。</p> <p>講義・演習「地域産業に貢献するためのマーケティング・商品開発の在り方」 株式会社スワローインキュベート 代表取締役兼筆頭研究開発者 大野 寿和</p>
69	校内研修を通じたデジタル・シティズンシップ教育・情報セキュリティ研修講座	5月17日(火) ～ 12月2日(金)	<p>情報モラル教育は、デジタル前提社会で生きる児童生徒がそのリスクを理解し、安心安全に利用しながら可能性を広げられる教育へと転換されてきております。本講座では、デジタル化された情報を安心安全に利用し、人権と民主主義のための善き社会を創る市民となることを目指す『デジタル・シティズンシップ教育』と『情報セキュリティ』を取り上げます。校内研修を通して、受講者はもとより、所属校全職員のデジタル・シティズンシップ教育・情報セキュリティ教育の指導力向上を図ります。校内研修を企画したり、研修した内容を実践し、校内で広めたりしていただくことのできる先生をご推薦ください。</p>

講座 番号	研修講座名	実施日	目的・内容
71	高等学校における特別支援教育の理解推進研修講座	9月21日(水)	<p>学級担任に対して、高等学校における特別支援教育の基礎的な知識を身に付け、実践力の向上を図ります。また、様々な問題に対応するために、研究協議を通して、支援策について考えていきます。</p> <p>講義・演習「高等学校における合理的配慮」 東京大学先端科学技術研究センター特任研修員 風早 史子 講義「当事者としての思い」 東京都自閉症協会 綿貫 愛子</p>
72	特別支援学校寄宿舎指導員研修講座	8月17日(水)	<p>特別支援学校寄宿舎における幼児児童生徒の理解と生活指導に関する研修を行い、寄宿舎指導員としての資質能力を図ります。また、今年度より本講座を毎年受講することが可能となります。午前中は他の講座と合同で実施し、毎年特別支援教育の最新の動向について、専門性の高い講師の先生の講義を受けることが可能となります。</p> <p>講義・演習「教育的支援を必要とする児童生徒の自己肯定感を育む支援の在り方」 筑波大学 准教授 小島 道生</p>

令和4年度茨城県教育研修センター「希望研修概要」

講座番号	研修講座名	実施日	目的・内容
73	学校組織マネジメント（基礎） 研修講座	8月2日（火）	組織マネジメントの考え方と進め方について着眼点を示しながら、学校マネジメントのビジョンや運営の仕組み、管理職のリーダー行動、学校と外との関係等を解説します。また、演習では、SWOT分析をしながら学校の内外環境の分析と特色づくりについて協議します。 講義・演習「学校組織マネジメント(1)(2)(3)」 兵庫教育大学 特任教授 浅野 良一
74	学校組織マネジメント（発展） 研修講座	8月1日（月）	学校ビジョンの役割と構成要素（めざす姿、力の入れどころ、行動規範等）について解説します。演習では、学校の戦略マップを各自作成し、意見交換しながらマネジメント力の向上を図ります。 講義・演習「学校組織マネジメント(1)(2)(3)」 兵庫教育大学 特任教授 浅野 良一
75	帰国・外国人児童生徒に対する 日本語指導研修講座	8月17日（水）	日本語指導の在り方や今日的課題について、専門家による講義・演習を通して理解を深めます。また、実践発表・演習を通して、日本語指導の授業改善や教材作成に役立つ視点を養い、指導力の向上を図ります。 講義・演習「今、求められる帰国・外国人児童生徒への日本語指導の在り方について」 筑波大学 准教授 澤田 浩子
76	道徳教育研修講座	7月26日（火）	道徳教育の今日的課題について、県内で道徳教育に積極的に取り組んでいる先生の実践発表を聞き、授業の工夫・改善のヒントを得ます。また、講義・演習を通して、道徳科の授業の具体的な取組の視点、これからの道徳教育の在り方について理解を深め、指導力の向上を図ります。 講義・演習「道徳教育と『特別の教科 道徳』の指導」 文部科学省 教科調査官
77	特別活動研修講座	8月8日（月）	今この時期だからこそ特別活動の意義が見直され、活動内容が注目されています。文部科学省の調査官から特別活動の最新の動向を伺うとともに、県内各地で積極的に特別活動に取り組んでいる先生の実践を共有し、演習を行うことで、特別活動の大切さやこれから大切になっていくことについて理解を深めます。 講義・演習「一人一人が育ち、集団が育つ特別活動」 文部科学省 教科調査官
78	高等学校等マネジメント研修講座	第1日 6月16日（木） ※ 計6日実施	学校教育に関する法規、組織マネジメント及び人材育成に関する研修を行い、学校における諸問題への対応に資するとともに、社会の変化に対応した新しい時代の学校運営に必要な資質・能力の向上を図ります。 学校教育に関する法規演習、組織マネジメント、人材育成に関する講義・演習・研究協議等
79	小学校国語科における児童の学びをデザインする研修講座	9月30日（金）	「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の視点から、国語科学習指導における授業力の向上を目指します。実践事例の提示や演習等を通して、単元のまとまりを意識した授業デザインや学びと評価の一体化の具体について学び、確かな授業力の向上を図ります。 講義・研究協議「学びと評価を一体化する国語科の授業づくり」 茨城大学教授 鈴木 一史
80	市民性を育む！シティズンシップ教育研修講座	8月24日（水）	成年年齢が18歳に引き下げられ、児童生徒の平和で民主的な国家及び社会の形成者としての自覚を涵養することが求められています。社会科ならではの現実の社会的事象を扱う授業づくりについて学び、「公民としての資質・能力」を育む授業力向上を図ります。 講義・研究協議「系統性を踏まえたシティズンシップ教育」 筑波大学教授 唐木 清志
81	算数科作問力向上研修講座	第1日 7月12日（火） 第2日 10月4日（火）	小学校算数に関する講義、演習、研究協議を通して、思考力、判断力、表現力等を育むための評価問題の作成を行い、作問力の向上を図ります。 第1日 講義・研究協議「算数科における資質・能力を育む教材の見方」 山梨大学教授 清水 宏幸

講座番号	研修講座名	実施日	目的・内容
82	小学校理科観察・実験研修講座	9月30日(金)	小学校理科の基本的な観察・実験を通して、授業力の向上を図ります。 終日、観察・実験を行い、理科の楽しさを実感しませんか。 観察・実験・研究協議「基本的な観察・実験の工夫」
83	夏の理科観察・実験(中学校・高等学校)研修講座	8月9日(火)	観察、実験等を通して、理科教育に関する認識を深め、授業力の向上を図ります。 終日、観察・実験を行い、理科の魅力を実感しませんか。 エネルギー、粒子、生命、地球領域における科学的に探究するための観察・実験の工夫
84	未来を創るSTEAM教育研修講座	第1日 8月19日(金) 第2日 10月13日(木)	変化の大きい多様な課題が生じている現代社会において、必要な資質・能力を育む「STEAM教育」が注目されています。文系・理系の枠を超えたカリキュラムマネジメントにアートを位置付け、新たな価値を創造する力を育む授業づくりを目指します。進取的な研修を通して、共に新しい学びを創り出しましょう。 講義・研究協議「新しい学びを創造するSTEAM教育」 茨城大学准教授 小林 祐紀 講義・演習・研究協議「STEAM教育におけるアート」 武蔵野美術大学教授 三澤 一実
85	音楽科授業づくり研修講座	A班 9月30日(金) B班 9月20日(火)	音楽の学習は、児童生徒が音や音楽の存在に気付き、それらを主体的に捉えることによって成立します。音楽を流しているから、といて音楽の存在に気付いているわけではありません。児童生徒の感性に働きかけ、主体的な活動に導くための方法を考えていきましょう。 A班：講義・実技「児童の感性を働かせる授業の工夫改善」 筑波大学非常勤講師 中島 寿 B班：講義・実技「生徒の感性を働かせる授業の工夫改善」 上野学園大学短期大学教授 内田 有一
86	我が国の伝統音楽研修講座	第1日 8月1日(月) 第2日 8月18日(木)	近年、和楽器を含む我が国や郷土の音楽の学習の充実が求められています。本講座では我が国の伝統・文化に関する教育に対する認識を深め、基礎的な授業力の向上、和楽器の基本的な奏法を学びます。教室に和楽器の音を子どもたちと一緒に響かせませんか?(和楽器の経験については、初心者に限ります。) 実技「箏の奏法1、2」鑑賞・実技「和楽器を用いた表現」 実技「三味線の奏法1、2」鑑賞・実技「和楽器を用いた表現」 東京藝術大学音楽学部同声会茨城支部 講師 2名 実技「和太鼓の奏法1、2」鑑賞・実技「和楽器を用いた表現」 来舞・デュオ 過足 雅之、照沼 啓子
87	これからの図画工作・美術科研修講座	第1日 7月1日(金) 第2日 9月14日(水)	講義や演習を基に、子供たちがよりよく学ぶための授業デザインについて考えます。第2日は、茨城県近代美術館での所外研修です。作品づくりや学芸主事による鑑賞演習などの実体験を通して、授業改善を図ります。 講義・研究協議「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた美術科の授業改善」 文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官 平田 朝一
88	ヒントが見つかり授業が変わる! 体育・保健体育科授業づくり研修講座	7月1日(金)	体育や保健体育のエキスパート白旗先生の講義をヒントに、学習指導要領の主旨をふまえ、受講者同士のアイデアを結集した授業づくりを通して、明日からの体育・保健体育の授業を変えていきましょう。 講義・研究協議「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた体育授業」 日本体育大学教授 白旗 和也
89	できるをいっぱいこ! 家庭科授業づくり研修講座	9月20日(火)	子供たちの「できるがいっぱい!」を実現する、家庭科授業づくりについて一緒に考えてみませんか。午後は校種別の部会に分かれ、ICTを活用した知識・技能を高める授業デザインなどの演習を通して、授業力向上を図ります。 講義・研究協議「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善」 茨城大学教授 木村 美智子
90	みんなで創ろう「Technology」の授業研修講座	9月20日(火)	技術・家庭科(技術分野)の現状と課題について、講義・演習などを通して学び、これからの未来を創る「Technology」の授業について考えてみませんか。 講義・演習「技術・家庭科【技術】教育の現状と課題」 文部科学省初等中等教育局視学官 上野 耕史
91	体験と参画を通して小学校外国語の授業スキルを身に付ける研修講座	7月29日(金)	小学校の外国語活動・外国語科に関して、体験活動と参画活動のある実践的な研修を通して、授業スキルを身に付けます。 講義・演習「学習指導要領を踏まえた小学校の授業づくり」 文部科学省初等中等教育局視学官 直山 木綿子

講座番号	研修講座名	実施日	目的・内容
92	知識や技能を「活用」する力を高める指導力向上研修講座	各教科による	<p>児童生徒に求められる知識や技能を「活用」する力について理解するとともに、指導力の向上を図ります。中堅教諭等〔前期〕資質向上研修講座（中学校）と合同開催。</p> <p>各教科、大学等の豪華講師陣を招き、理論と実践の研修です。</p> <p>【国語】大妻女子大学 榊山 敏郎 【社会】大阪教育大学 峯 明秀 【数学】山梨大学 清水 宏幸 【理科】北里大学 田中 保樹 【外国語（英語）】文部科学省教科調査官 山田 誠志</p>
93	明日から使える！授業ブラッシュアップ研修講座	8月8日（月）	<p>講座名の通り、すぐに授業に使えるスキルや考え方を学びます。終日、質疑や意見交換を中心に進みます。オンラインで、手軽に、しかし、内容の濃い研修を体験してみませんか。</p> <p>講義・研究協議「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善の基本的な考え方」 株式会社AL&AL研究所 代表取締役 授業改善アドバイザー 小林 昭文</p>
94	思考力・判断力・表現力を高める指導力向上研修講座	第1日 6月21日（火） 第2日 9月9日（金） 第3日 11月14日（月）	<p>主体的・対話的で深い学びや学びと評価の一体化の視点から、評価問題の作成をはじめとする思考力・判断力・表現力を高める実践的な指導力向上を図ります。</p> <p>各教科で大学等の講師を招き、理論と実践について研修します。</p> <p>【国語】文部科学省 大滝 一登、早稲田大学 幸田 国広 【地歴公民】産業能率大学 皆川 雅樹、玉川大学 樋口 雅夫 獨協大学 秋本 弘章、文部科学省教科調査官 【数学】東京学芸大学 教授 西村 圭一 【理科】東洋大学 後藤 顕一、株式会社AL&AL研究所 小林 昭文 【外国語（英語）】大阪教育大学 小林 翔</p>
95	持続可能な社会を創る！SDGs研修講座	第1日 A班 8月1日（月） B班 8月2日（火） 第2日 11月18日（金）	<p>持続可能な開発目標（SDGs）を達成するために、持続可能な社会の創り手を育む教育（ESD）が注目されています。JICA筑波での研修や海外とのオンライン交流を通して、「think globally, act locally」の視点を生かした学びについて考えます。</p> <p>講義・研究協議「SDGs達成に向けたグローバルな視点からの取組」 JICA筑波職員 講義・研究協議「学校と地域が連携したSDGs達成に向けた教育の在り方」 桐蔭横浜大学専任講師 松井 晋作 演習「オンラインスタディ・ツアー体験」 認定NPO法人CFJジャパンスタッフ</p>
96	体験する夏の環境教育研修講座	8月24日（水）	<p>河川の上・中・下流域の様相の違いや生息する生物等の観察を通して、体験的に環境教育について考えます。フィールドワークをしながら環境教育について研修してみませんか。</p> <p>実習「河川観察等を通じた体験型環境教育」 茨城県霞ヶ浦環境科学センター職員</p>
97	日常を探究にする研修講座	8月23日（火）	<p>児童生徒が日常の中に探究テーマとの出会いやヒントとなるきっかけを見出し、探究的な学びを実現する授業デザインを行います。</p> <p>講義「児童生徒の日常を探究にする」 認定特定非営利活動法人カタリバ 横山 和毅</p>
98	学校図書館を活用した授業づくり研修講座	8月24日（水）	<p>学校図書館を活用した教育活動に関する実践的な内容・方法等について理解を深め、授業力の向上を図ることを目的としています。「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて、図書館との連携の在り方や、学校図書館を活用した授業づくりの実際について考えてみませんか。</p> <p>講義・研究協議「主体的・対話的で深い学びを創造する学校図書館」 帝京大学教授 鎌田 和宏</p>

講座番号	研修講座名	実施日	目的・内容
99	はじめてのICTを活用した授業づくり研修講座	A班 7月26日(火) B班 8月22日(月) C班 8月23日(火)	令和の日本型学校教育の実現に向けて、授業におけるICT活用が必要不可欠なものとなっている中、授業でICTを活用すること、機器操作自体に不安を感じる先生も多いのではないのでしょうか。本講座は、授業でのICT活用・ICT機器操作に不安を感じている初心者の先生方が対象です。教科・科目の目標を授業の主軸におきながら、「文房具としてのICT活用」を合言葉に、誰でも手軽に授業でICTを活用できるヒントを得ることができます。ぜひ私たちと一緒に、授業でのICT活用の一歩を踏み出しましょう。 ※ 班ごとに演習に使用する授業支援ソフトウェアが異なります。下記から選択し、お申し込みください。 A班：「Google Workspace for Education」と「SKYMENU Class」から選択 B班：「SKYMENU Class」と「ロイロノート・スクール」から選択 C班：「Google Workspace for Education」と「ロイロノート・スクール」から選択
100	新しい教育課題に対応するための教育の情報化研修講座	8月24日(水)	今年度の教育課題は、「すべての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと協働的な学びをどのようにして実現していくか」です。令和を生きる子供たちには、自分の良さや可能性を認識するとともに、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、持続可能な社会の創り手となるための資質・能力が求められています。本講座では、そのような資質・能力をどのようにして育んでいくのか、ICTを学びのツールとして活用しながら、その育成法を学んでいきます。 講義・演習「すべての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと協働的な学び」 上智大学 総合人間科学部教育学科 教授 奈須 正裕
101	学校教育の情報化推進リーダー養成研修講座	第1日 7月29日(金) 第2日 8月18日(木)	GIGAスクール構想の実現に向けて、一人1台端末の整備が進められました。これからは、学校教育の情報化をどのように推進していくのか、そのリーダーが求められると考えます。本講座では、教育の情報化について、学識経験者の講義や現職の校長・教諭の実践発表などを基に、演習・研究協議を通して学び、学校教育の情報化推進リーダーとしての資質・能力の向上を図ります。 講義・演習「一人1台端末環境における情報モラル教育」 鳥取県情報モラルエデュケーター 今度 珠美 講義・演習「情報活用能力の育成と教科指導におけるICT活用」 茨城大学 准教授 小林 祐紀 講義・演習「学校教育の情報化推進のためのICT戦略づくりに向けて」 株式会社情報通信総合研究所 ICTリサーチ・コンサルティング部 特別研究員 平井 聡一郎
102	小学校段階におけるプログラミング教育研修講座	A班 8月8日(月) B班 8月9日(火)	フローチャートを使って手順を考えるなど、プログラミング的思考を身に付けるための学習活動について理解を深めるとともに、ロボットの動作をプログラミングするなど、小学校段階におけるプログラミング教育に関する知識と技術を習得し、指導力の向上を図ります。 ※ 本講座は、受講者の希望により、基礎・基本からプログラミングを学ぶことのできるコースと、教科の学習にも生かすことのできるプログラミングを行う発展的な内容を扱うコースから選択してお申し込みください。 A班：基礎・基本コース B班：発展コース
103	不登校対応研修講座	8月18日(木)	不登校等の教育問題について実践的に取り組んでいる大学教授の講義・演習を通して、不登校児童生徒の理解と支援について考えを深めます。また、研究協議を通して、より具体的な支援方法について考えを交流し、対応力を高めます。 講義・演習「不登校児童生徒の理解と支援」 埼玉県立大学 教授 東 宏行
104	思春期の子どもと保護者に寄り添う教師のためのソーシャルスキル研修講座	8月9日(火)	自殺予防に関する研究で知られる医師を迎え、思春期の児童生徒の特徴と適切な関わり方について理解を深めます。また、演習を通して、教師が児童生徒や保護者と信頼関係を構築するためのソーシャルスキルを身に付けます。 講義・演習「思春期の子どもとの心と向き合う」 筑波大学 医学医療系教授 太刀川 弘和

講座番号	研修講座名	実施日	目的・内容
105	教育相談（初級）研修講座	第1日 A班：8月1日（月） B班：8月24日（水） 第2日 A班：10月26日（水） B班：11月2日（水）	<p>大学教授の講義・演習を通して、カウンセリングにおける理論と実践を学びます。また、実際の個別面接を想定したロールプレイを行い、話を聴くための基本的な態度や技法の習得を目指します。</p> <p>第1日 講義・演習「教育相談の基礎」 茨城大学 教授 正保 春彦</p>
106	教育相談（中級）研修講座	第1日 8月19日（金） 第2日 1月19日（木）	<p>教育相談（初級）研修講座を修了している方を対象とした講座です。児童生徒や保護者が抱える問題を明らかにする技法や関わりについて講義・演習・研究協議を通して、理解を深めます。児童生徒や保護者の許可を取り、個別面接を録音し、逐語記録を作成する課題があります。</p> <p>第2日 講義・演習「教育相談におけるアセスメント」 文教大学 教育学部教授 会沢 信彦</p>
107	教育相談（上級）研修講座	第1日 6月28日（火） 第2日 10月12日（水） 第3日 1月12日（木）	<p>教育相談（中級）研修講座を修了している方を対象とした講座です。講義・演習・研究協議を通して、問題を解決に導く技法や関わりについて理解するとともに、学校教育相談活動の推進に向けた、専門的な知識・技法を学び、理解を深めます。児童生徒や保護者の許可を取り、個別面接を録音し、逐語記録を作成する課題があります。</p> <p>第1日 講義・演習「教育相談の理論と実践」 茨城大学 准教授 金丸 隆太 第2日 講義・演習「教育相談の応用」 茨城大学 准教授 丸山 広人</p>
108	問題行動等を未然防止！育てる教育相談研修講座	7月15日（金）	<p>育てる教育相談の理論と方法について、大学教授の講義・演習とグループアプローチの講義・演習を通して理解を深めます。事前に動画を視聴してから受講してください。グループアプローチは構成的グループエンカウンターかクラス会議のいずれかを申し込み時に選択します。</p> <p>講義・演習「授業に生かす教育相談」 立正大学 心理学部特任教授 鹿嶋 真弓</p>
109	特別支援学級・通級指導教室担当者指導力向上研修講座	第1日 9月27日（火） 第2日 11月9日（水）	<p>特別支援教育に携わり2年目以上の先生方にお薦めの講座です。細川先生の読み書き困難のある児童生徒への指導についての講義、さまざまなアセスメントの方法やキャリア教育等を学びます。今よりも少し知識や実践力をつけたい先生方、共に学びましょう。</p> <p>第1日 講義・演習「特別支援学級・通級指導教室の担当者の専門性」 茨城大学 准教授 細川 美由紀</p>
110	自立活動指導力向上研修講座	7月26日（火）	<p>障害による学習上または生活上の困難を主体的に改善・克服するための「自立活動」の指導の在り方について研修します。実践発表やプロセスシートの作成を通して、児童・生徒の学びを下支えする自立活動の実践につなげていきましょう。</p> <p>講義・演習「学びを支える自立活動の指導の在り方」 全国特別支援学級・通級指導教室設置学校長協会会長 喜多 好一</p>
111	読み書き困難の児童生徒への指導法研修講座	11月30日（木）	<p>読み書き困難のある児童生徒の認知的背景や支援の在り方等について、研修を行います。午後は実践発表、事例の児童生徒についての研究協議を行い、読み書き困難のある児童生徒への今後の指導に生かせるようにしていきます。オンライン研修となります。</p> <p>講義・演習「読み書き困難のある児童生徒への指導」 学びプラネット合同会社代表 平林 ルミ</p>
112	応用行動分析に基づいた問題行動への新しいアプローチの仕方研修講座	8月19日（金）	<p>応用行動分析学（ABA）の観点から、問題行動のある子どもの行動の変容について学びます。客観的に行動を観察し、分析することによって、望ましい行動を引き出す支援の仕方に関して、実践的な理解を深めます。</p> <p>講義・演習「応用行動分析学とは」 星槎大学大学院教授 三田地 真実</p>

講座 番号	研修講座名	実施日	目的・内容
113	特別支援教育専門研修講座	第1日 8月17日(水) 第2日 1月18日(水)	<p>特別支援教育の専門性を高め、地域の特別支援教育のリーダー養成を目指す講座です。特別支援教育に関する最新の動向についての講義や研究協議、WISC-IVの解釈に関する講義・演習を行います。地域の特別支援教育の発展のために専門性を高めていきましょう。</p> <p>第1日 講義・演習「教育的支援を必要とする児童生徒の自己肯定感を育む支援の在り方」 筑波大学 准教授 小島 道生</p> <p>第2日 講義・演習「WISC-IVの解釈」 臨床心理士 大六 一志</p>
114	はじめてのICTを活用した授業づくり(特別支援学校)研修講座	11月29日(火)	<p>ICTの知識と技術の基礎・基本を習得し、特別支援学校において、分かりやすく深まる授業の実現に積極的に活用できるように研修を行います。実習や研究協議を通してICTを活用した授業づくりについて知識と実践力を深めていきましょう。</p> <p>講義・演習「特別支援教育におけるICTを活用した授業づくり」 一般社団法人SOZO.Perspective代表 海老沢 穰</p>